アートミーツケア学会設立総会・記念フォーラム

アートとケアの出会い

――人間の創造性と生きる力――

現代社会が変動するなか、人間の生の根拠が大きく揺らいでいます。私たちは豊かな生の実現を願っていますが、それは生命活動の全体を恢復することでもあります。夢も生であり、表現も生の核心にあります。私たちにとってアートは生の根拠を支える様式なのです。

生きることが幸福でありたいという感情。これこそがケアという人間行為の本質ではないでしょうか。そこにアートは、どのように関われるのでしょうか。医療、福祉、教育、コミュニティなど、さまざまなケアの現場で、生きる技術としてのアートの実践がはじまっています。今ここに生きる人間のアートは、想像力と優しさによる生きる力を獲得する営みであり、人間らしい感性を社会に取り戻していく新しい挑戦にほかなりません。

そこで生命の、美の、優しさの恢復をめざすアートの役割を研究する場として、また世界の全体性をよみがえらせるアートの力を社会にいかしていくネットワークとして「アートミーツケア学会」を設立します。

この学会の設立総会・記念フォーラムでは、ケアとの出会いから生まれる新しいアートのありかた、社会におけるアートの可能性、そして人間の生きる力を支える創造性について考えます。生き死にを深く考えながら私たちの未来の人間性について、研究者、実践者の枠を超えて話し合い、新しい知・新しい美を提案します。

みなさまのご参加をお待ちしています。

日程：2006年3月11日[土]・12日[日]
【3月10日[金]　プレ・プログラム】

会場：奈良県新公会堂レセプションホール、ほか

主催：アートミーツケア学会

Art Meets Care

プログラム

●プレ・プログラム　3月10日（金）　14:00–16:00

大阪、または奈良でアートとケアが出会う現場を訪ねるスタディ・ツアーを実施します。お問い合わせいただいた方には地図や集合場所などの詳細な情報をお送りします。各プログラム定員10人まで。

①ホスピタル・アート

大阪府立母子保健総合医療センター（大阪府和泉市）

京都造形芸術大学の学生とNPO法人アーツプロジェクト、そして病院との連携により実現したホスピタル・アート。病院にアートを取り入れていくにはどうしたらいいか、ハードやソフトを含めて課題と解決方法、可能性を学ぶとともに、医療空間におけるアートの役割を現場で体感します。

壁画ー2F手術室前廊下

制作風景

②地域のなかのアートセンター

たんぽぽの家アートセンターHANA（奈良市）

福祉施設はいかにして地域に開かれた文化発信の場となるのでしょうか。ギャラリーやショップ、スタジオを見学しながら、福祉と地域をつなぐアートセンターの役割、また障害のある人にとって創造的な活動のもつ意味について考えます。

外観

アトリエ

奈良の観光情報

●東大寺お水取り

3月10日、11日、12日は東大寺二月堂にて春の訪れを告げる伝統行事、修二会（お水取り）の期間中です。10、11日（19:00より）にもお松明の行事はありますが、12日（19:30より）は特に籠松明とよばれる大きなお松明の見られる日です。

●奈良国立博物館「お水取り」展

修二会の期間にあわせて、二月堂とお水取りに関する絵画、文書・典籍などを展観します。10回目の今年は、聖武天皇1250年ご遠忌記念として東大寺文書から「東大寺倶舎三十講日記」をはじめ国宝6件を含む約70件を展示、これまでの集大成となる充実した内容です。

●1日目　3月11日（土）

12:00—13:00	受付
13:00—14:00	設立総会 入会希望の方、関心のある方はどなたでもご参加ください。
14:10—14:20	記念フォーラム開会
14:20—14:30	あいさつ 畑　祥雄（関西学院大学教授）
14:30—15:20	記念講演 1
	「現代におけるアートの役割 ——アメリカ・アーツ・イン・ヘルスケア学会の果たしてきた役割」 現代社会に希望を見出すために、アートには何ができるか。アメリカ・アーツ・イン・ヘルスケア学会は10年以上にわたり、医療や福祉の分野にアートをとおした新しいムーブメントをおこしてきた。これまでの活動から、社会やアートに対して与えてきたインパクトについて語る。 ● **リン・ケイブル**（アメリカ・アーツ・イン・ヘルスケア学会理事。ニューヨークにあるNPO、ホスピタル・オーディエンス社で病院や老人ホーム、精神科などさまざまな場で公演やワークショップを行う。また、ホームレスや薬物依存の人たちに対しての教育プログラムなどにも取り組む。学会創設に携わり会長もつとめた）
15:20—16:10	記念講演 2
	「ケアの文化のあるコミュニティづくり」 都市化が進み、人間の生を支えていたさまざまなコミュニティが崩壊しつつある。ケアという営みの豊かさ、精神性について学ぶことから、ケアを通した豊かな関係性の構築について考える。 ● **佐藤登美**（静岡県立大学看護学部教授、大学院看護学研究科長。「間柄づくり」をテーマにした在宅ケアのためのボランティア活動をとおして、現代社会のなかでのケアのはたらきに着目。人間性を回復するためのコミュニティのあり方、教育のあり方を提案している）
16:20—18:00	パネルディスカッション
	「アートとケアの出会い——人間の創造性と生きる力」 社会が大きく変動するなか、アートや表現活動のもつ意味も変わりつつある。ここでは、異分野がクロスし、せめぎ合うなかから生まれるアートのありよう、社会におけるアートの可能性、そして人間の生きる力を支える創造性について考える。 ● **銅金裕司**（メディアアーティスト。東京芸術大学先端芸術表現科にて教鞭をとる一方、各地で植物を用いて創造性を引き出す「ガーデンシアター」のWSを実践） ● **中川　真**（大阪市立大学教授。東南アジアの民族音楽、サウンドスケープ、サウンドアートを研究。ガムラングループ「マルガサリ」を主宰、近年では障害のある人とコラボレーションを行う） ● **並河恵美子**（NPO法人芸術資源開発機構代表。高齢者施設にアートを届けるアートデリバリー講座や介護する人・される人への芸術講座などアートとケアをつなぐさまざまなプロジェクトを実施） **コーディネーター：本間直樹**（大阪大学講師）
18:20—20:00	交流会

（やむをえない事情によりプログラムを変更する場合がありますがご了承ください。）

●2日目　3月12日（日）

9:30—10:00	受付
10:00—12:00	実践報告
	「ホスピタル・アート」 アートを学ぶ学生、NPO、病院の連携により実現した、大阪府立母子保健総合医療センターのアート・プロジェクトを報告する。 ● **森口ゆたか**（NPO法人アーツ・プロジェクト代表）
	「美術教育とコミュニティ・ケア」 地域で暮らす高齢者に絵を届けるアート宅急便、美術部の学生によるシニア・アートスクールは子どもや地域に何をもたらしたか。美術教育と地域をつなぐ取り組みを報告する。 ● **神吉　脩**（加古川市立山手中学校教諭）
	「アーティストと社会をつなぐアート・リンク」 障害のある人とアーティストが出会い、ともに創造活動をするなかから生まれた新しいアート、関係について報告する。 ● **田野智子**（ハート・アートおかやま事務局長）
	進行：伊藤裕夫（静岡文化芸術大学教授）
12:00—13:10	ランチブレイク
13:10—15:10	グループディスカッション（選択）
	Ⓐ「自然とケア——植物と人間の関係を探る」 自然と共生することによる心身のケア、いのちのメカニズムを開花させる環境づくりについて考える。 **コーディネーター：三輪敬之**（早稲田大学理工学術院教授） **発題：グロッセ世津子**（（有）みどりのゆび代表） **銅金裕司**（メディアアーティスト）
	Ⓑ「パフォーミングアーツとケア」 音楽や舞台芸術などのパフォーミングアーツを通して生まれる豊かな関係性、ケアのあり方について考える。 **発題：上田假奈代**（詩業家、NPO法人こえとことばとこころの部屋代表） **沼田里衣**（神戸大学大学院生） **コーディネーター：中川　真**（大阪市立大学教授）
	Ⓒ「医療におけるアートの役割」 地域医療や精神病院におけるアートの実践、また小児病棟における子どもの生活環境を豊かにする取り組みを通して、医療とアートの関わりを考える。 **発題：平井祐範**（大阪市立大学医学部庶務課広報担当係長） **山口悦子**（大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学・教員） **コーディネーター：太田好泰**（エイブル・アート・ジャパン事務局長）
	Ⓓ「高齢社会におけるアートの役割」 高齢社会を迎え、誰もが豊かに老いていくために、アートや文化的な活動はどのようなことができるか。アートと高齢化のかかわりについて考える。 **発題：ダーリング・ブルース**（九州保健福祉大学教授） **コーディネーター：並河恵美子**（NPO法人芸術資源開発機構代表）
15:20—16:30	グループディスカッション報告
	進行：畑　祥雄（関西学院大学教授）

■お申し込み方法

1. 参加費をご入金ください。振込み手数料はご負担願います。
   払込用紙の受領証をもって領収証に代えさせていただきます。

   郵便振替 00920-4-252135　アートミーツケア学会

2. 申込フォームに必要事項をご記入のうえ、学会事務局までFax、またはE-mailでお申込みください。

3. お申し込み完了となります。当日は受付でお名前をお知らせください。

   申し込み期限：2006年3月3日（金）　定員200人になりしだい締め切ります。

■参加費

	一般		学生	
	未会員	学会員	未会員	学会員
プレ・プログラム	□ 2,000円	□ 1,000円	□ 1,000円	□ 500円
両日参加	□ 5,000円	□ 3,000円	□ 3,000円	□ 2,000円
１日のみ参加	□ 3,000円	□ 2,000円	□ 2,000円	□ 1,500円
交流会費	□ 3,000円			

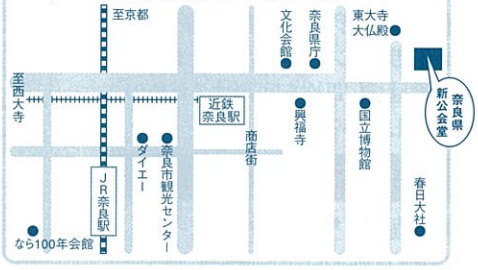
＊当日までに学会員になられた方は、学会員としてご参加いただけます。上記参加費に年会費をあわせてお振り込ください。

■アートミーツケア学会会員募集

医療や福祉などのケアの現場におけるアートの役割、私たちの生きることに関わるアートの可能性を探求する学会が誕生します。関心のある方には資料を送付させていただきますので、設立準備事務局までお問い合わせください。

年会費　一般会員：10,000円　　学生会員：5,000円　　賛助会員（1口）：30,000円
（お振込いただいた日から2007年3月31日までの年会費となります）

奈良県新公会堂地図
近鉄奈良駅より徒歩20分



■お申し込み・お問い合せ

アートミーツケア学会設立準備事務局

［事務局］財団法人たんぽぽの家内
〒630-8044　奈良市六条西3-25-4
Tel.0742-43-7055　　Fax.0742-49-5501
E-mail.art-care@popo.or.jp

アートミーツケア学会設立総会・記念フォーラム参加申込フォーム

お名前　　所属先・活動内容等

参加日程

□ プレ・プログラム①（3月10日）　□ 設立総会（3月11日）　□ 交流会（3月11日）　分科会Ⓐ～Ⓓの中から選択

□ プレ・プログラム②（3月10日）　□ 1日目（3月11日）　□ 2日目（3月12日）　第1希望 _____　第2希望 _____

ご住所（ご自宅以外の場合は、団体名までお書きください）

〒

Tel　　Fax

E-mail